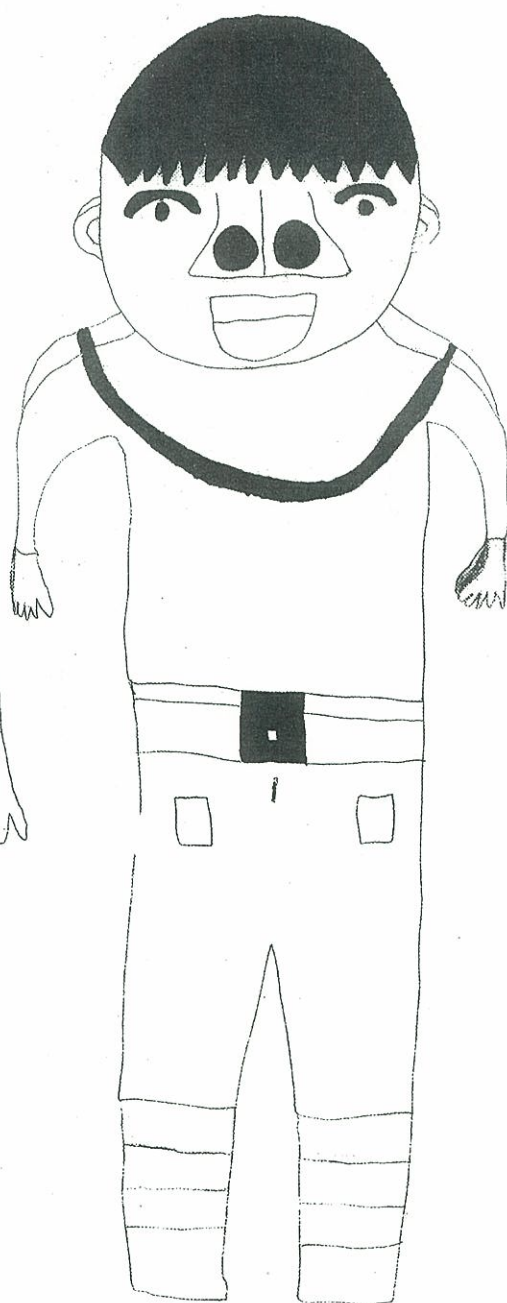
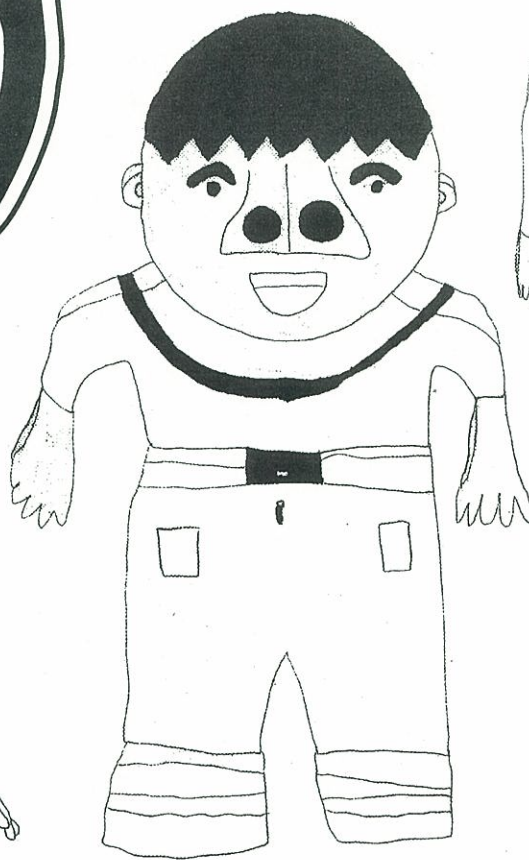
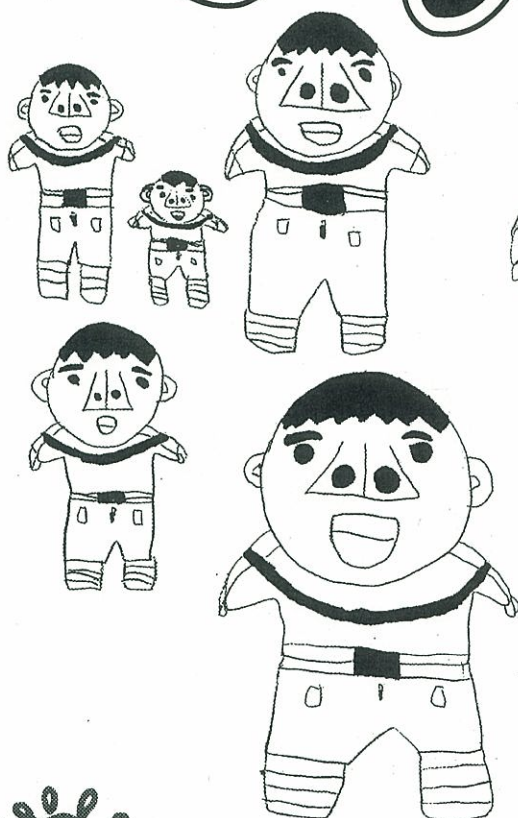


KSKR パンジー だより



絵：山本雄介



知的障害者も自ら主張する

障害者の声を全く反映していない「自立支援法」が閣議決議され、国会に上程されました。

2月15日、16日、「自立支援法」への異議を訴えるため、全国から約2000名の人たちが集まりました。厚生労働省や国会議事堂前で反対集会やデモ行進、座り込みをし、パンジーからも約40名が参加しました。代表団は各党議員たちと話し合いました。

当事者が強く言っていたことは▼勝手に決められたくない！▼ガイドヘルパーが使えなくなったら困る▼お金がないのにサービスが使えなくなる▼自分の好きなグループホームに住みたい！ということです。当事者のことばに厚生労働省や国会は深く耳を傾けてほしいと思います。私たちはこれからも法案がそのまま通らないよう、訴え続けます。

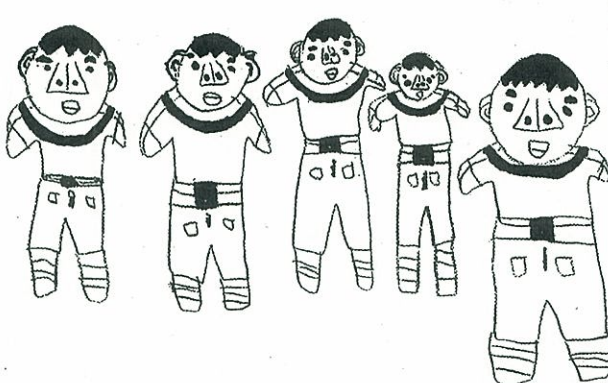
さて、今回の特集は『知的障害者も自ら主張する』です。

12月3日創思苑職員勉強会が開かれました。内容は「職員に言いたいこと」。講師ははっしんきち☆ハートの当事者の生田進さんと梅原義教さん。支援者は同じく☆ハートの山田佳子。生田さんは、「こんなきびし

いことを言ったら「辞めなす」と言う人が出てくるのでは？でも、乗り越えてほしい」と言います。また梅原さんは「思っていることを全部言うのはこわい。でもいわなあかん」。そして「パンジーの当事者の代表として話します」と講演が始まりました。

勉強会に参加した44名の職員のほとんどが、気持ちを揺さぶられる体験をしました。今回のパンジーだよりでは、その内容を紹介し

ます。知的障害を持つ人たちは自己決定できない、主張できないという固定観念にとらわれがちですが、みんな強い思いを持ち、思いをしっかりと主張します。精一杯受け止めて、職員・支援者も成長していきたいと思っています。



パンジーの当事者から 職員へ言いたいこと

職員はえらそうにするな

生田「職員がえらそうにしてると思うのはワープロしてるとき。お金の計算や考え事してるとき。「ちょっと待ってくれ。手離せへん。」という。職員の悪い癖や。話しかけたら話して欲しい。オレよりパソコンを大事にしている。どっちが大事や」

梅原「言い方がきつかったら、えらそう。嫌やな。いっしょに仕事したくない」

生田「きつい言い方や、大きな声でほやくのはよくない。声をゆるめてあかん」。

職員は当事者の話を聞くこと

梅原「職員は当事者の本当の気持ちを引き張って聞いてほしい。話しかけたら向こうから答える」

生田「話を聞いたら当事者

は安心するし喜ぶ」

当事者を不安にさせるな。びつくりさせるな

生田「車について。笑いこっちゃない。車がぼこぼこになってる。当事者はびつくりしてよう乗らへん」

梅原「車に乗るのが好きな人はたくさんおる。配達や営業は大切。パンジーの車はぼこぼこで恥ずかしい。車いすで車に乗って運転が荒いと、急ブレーキはお腹が痛い」。

職員は「ちょっとまって」とよく言う。ちょっとどこのくらいと不安になる。理由も言うてほしい。すぐ出れるように準備しといたらい」

生田「昔石けん工場働いてて暴力をうけた。ドラム缶投げられて当たったら笑ってた。しょーもない人間がすること。すごいつら

い。こき使われて。パンジーの職員が暴力をふるったあかん。辞めてもらう」

梅原「ピープルファーストで事件のこと、暴力のこと、困ったら相談乗っている。パンジーで暴力があつたらピープルファーストやつてんのに何やってんの？と思われる」。

職員だけで決めるな

梅原「職員は会議が多すぎる。職員だけで考えるとケンカがあるやろ？ 困ったときや新しいことは当事者がかえる会で決めるんちゃうの。当事者は知らんで職員だけ知ってるのはおかしい」。

生田「俺らにはわからんから、先に決めたらいいと思ってるん違うか」

当事者がわかりやすく。意見を言いやすいように

梅原「どらえもん会は職員が引く張ってる。かえる会は当事者が引く張ってる。この前どらえもん会が30分で終わってた。あかんやろ。当事者が考えるには短い。当事者が会議の司会をしたらのびる」

職員は怖い

山佳子

勉強会の支援をして感じたことは「職員は怖い」ということです。

当事者の生田さんや梅原さんから出た、職員に言いたいことを書いたカードを壁一面に貼り、それを見ながら3人で勉強会の練習をしていて、不安に陥ったことがありました。生田さんは「これだけきついこと言うたら、辞める職員が出てくるんじゃないかと不安やねん。寝る前にいつも考えてしまつてしゃーないねん」とつぶやき、梅原さんは「こんな本場に職員に言うていいんかな？ 胃が痛いわ」と苦笑いをしていました。

職員の感想

●当事者の人からはっきり自分の言葉で思いを伝えられたのは初めてでした。職員にとっては、こういう形ではっきり伝えられるほど心を感じることはないと思いました。

●支援者には小さなことでも当事者にとっては大きな問題になっていることに気づきました。

●「仕事にかまけて当事者の話を聞いていない」という指摘は、職員だけが忙しくて、当事者が置き去りにされているのかなと感じました。

最後に

梅原「今のパンジーはまだ当事者の力が小さくて、職員が大きい。当事者が大きく支援者が小さくなつてほしい。そのために職員が助けて欲しい」

生田「いろいろきついこと言うたけど、これを持ち越えて欲しい。よう乗り越えんかったら心が負けたつていうこと」

本番、職員44名を目の前にするとその恐怖は並々ならぬものでした。いつもは冗談をいいながら笑っている人達が、一瞬にして「怖い集団」になりました。最初のうち生田さんは下を向いたままでした。私は職員の方を見ることが出来ず、どんどん早口になっていきましました。梅原さんとは今までも何百人という人の前で一緒に話をしてきましたが、これほどの汗をかいているのを見たのは初めてでした。当事者が日頃、支援されて

ている職員に意見を言うことはこんなにパワーがいるものなのかと身をもって感じました。私にとつてとても勉強になりました。しかし、本当に疲れました。

「相手への問いかけに なる主張」が生まれる 場をつくらう

「パンジーの 勉強会」の可能性 ～まとめとして～

大阪国際大学教授
橋本義郎

勉強会の講師（知的障害の当事者）の主張の要約記録と、参加した職員が書いた感想・意見を読んで、最初に考え・感じたこと1点について書く。

「パンジーの勉強会」は、「おたがいに主張しあい、共に考え、新しい提案を生み出す」、言い換えれば「相手への問いかけになる主張」の場になつていくか、もしくはそうなる可能性をもっていると考えた。

「主張」とは、ただしゃべることではない。自分が「きっとそうだ」と確信をもったことを他の人に認めてもらうために話したり、歌ったり、おどったり、絵をかいいたり、作文したりして本気で表現することだ。この主張が「相手への問いかけになる」というのは、相手が賛成の主張だけでなく、反論・異論や疑問も含む主張もかえしてくれ、相手を本気で願って、相手にとどくように工夫し、心をこめて自分の確信について表現することだ。

「全部言うのこわい」「心配」と感じながらも腹をきめて講師が本気で言う。「ワープロばかり、当事者と話すより、力がかたよってる、どっちが大事なんや」「これから寒いから車で待つ

はきつい・・・すぐ出れるように準備しといたらいい」「理由も言うてほしい」。職員はこうかえす。「ちょっとまってね」とか当事者の方を少し待ってもらったりして、その時に「まってね」と言われた当事者の気持ちになると少し複雑。

ひとつの主張が、もう一つの主張を生みだしている。その「もう一つ」の主張に刺激されて私は考え、問いかける。「少し複雑」ってどんな感じかな。

こんな具合の主張と対話（表現のやりとり）による合作（はやり言葉でいうと「コラボレーション」）で新しい提案を生みだしていきたい。「俺の言うことは全部正しい、お前らの言うことは全部間違い」と決めつけるような「主張」は大嫌いだ。

知的障害者のセルフアドボカシーについて学ぶことの多い橋本先生に、当事者の話を聞く勉強会についてコメントをお願いしました。

口ばかりで ごまかすな!

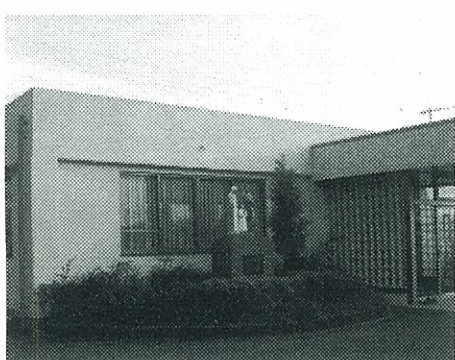
カリタスの家 調査・抗議行動

2004年11月、入所施設での信じられない虐待の数々が、毎日新聞で連日のように報道された。福岡県の知的障害者入所更正施設「カリタスの家」で、コミュニケーションの難しい当事者たちが、日常的に多くの職員による暴力の標的となっていた。「炭の作業場で炭を食べさせられた」「ボクシンググローブで殴られた」「当事者を袋詰めにし一晩放置」。施設長も虐待に加担し、熱湯のコーヒーを力づくで3杯飲ませて大やけどをさせている。

「はっしんきちザ☆ハート」では、報道の後、強い怒りと共に、見逃すわけにはいかない、カリタスに行くべきだという意見が出た。12月21・22日、全国のピープルファーストの仲間と共に、

に、現地へ行き、調査・抗議行動を行った。ピープルファーストの活動に取り組んできた、パンジーの当事者のアンテナはとても敏感だ。権利侵害を許さない意志と、それを表現する力がある。仲間を大切にする日常的な取り組みに加え、滋賀県の「サンダールプ事件」で被害を受けた当事者を支援してきた経験が力となっている。

「カリタスの家」に調査に行った生田さんや梅原さんは次のような意見を述べた。「カリタスの職員は『人間として失格でした』って言うたけど、人間やから悪いことするんや。口ばかりでごまかしてる」「職員がはつきりしてないから、



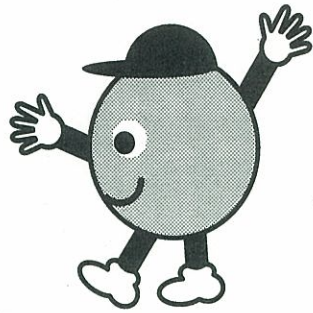
こんな事件がおきた。職員の支援が足らん。職員は見えないんや」「当事者殴つていて、辞めたらしまいはない。ちゃんと牢屋に入らなあかん」「鍵で閉じこめたら、動物みたいになる。一番したらあかんことや」「入所施設があるから、こんな事件が起きるんや」「ピープルファースト広げて、施設なくしていいなあかん」。

「カリタスの家」の当事者は、今も虐待を受け続けた施設での生活を余儀なくされている。私たちは、状況を打破するのは当事者の力だと信じ、当事者と共に、できる限りの手を尽くして支援をしていく必要がある。

（支援者・福岡）

けていくで!

。どんな話をしたかを紹介します。
ん。いっぱい話していかなあかん!



日本でピープルファーストが できた話

わし、ピープルファースト世界大会でアラスカ行ってな。ほんとやで。
そこで、マイクの前に並んで話したんや。
「なにいうん」てきかれたけど、わし、頭に浮かんできたんや。
「日本でも、こんな事件がありました」と、サングループ事件のことを言うたんや。
そしたら、モンローさんがきて「一回日本にいかなあかん。
アメリカでも、事件はある」っていったんや。
「日本でも、ピープルファーストできるかな」ときいたら、
「ぜったいできる」っていったんや。
わしもできるんちゃうかなーと思って、やってきたんや。



グループホームのこと

はじめは、ショートステイで練習みたいにしてな。
一泊ずつ増やしていったん。
買い物にも、自分で行ったことなくて、
なに買ったらいいかわからなかった。
でも、買い物が楽しかった。グループホームで自分の
部屋をどうするか考えるのも楽しい。



入所施設に入ってた頃の話

ぼく入所施設に入ってたな。
小さいころ、休みに家に帰って、また施設にいかなあかんかったとき、
すごくイヤで、泣きわめいたことをおぼえてるわ。
訓練ばかりで、散歩もリヤカーに乗っていくねん。
十人ぐらい乗って、職員が二人ぐらいでひっぱるんや。
ぼくは、今考えたら普通の学校に行ってみんなと勉強したかった。
みんなと遊びたかった。あの時は、何にも知らなかったからな。



かったから、
りしていた。

のとき、

グループホーム 介護者募集!

当事者の生活を支援する人を
募集します。
男性スタッフ大歓迎です。

時給1000円〜/宿直手当・交通費支給
詳しくは、パンジーⅡ 0729-60-3610
までお電話下さい!

《株》岸沢設備工産

TEL 0729-81-1671

東大阪市善根寺町5-1-38

■東大阪市上下水道指定店
■大東市上下水道指定店
■給湯器取替・住宅設備全般

特定非営利活動法人
書物の歴史と保存修復に
関する研究会

〒631-0803
奈良市山陵町236-1-103
TEL/FAX 0742-35-3471
<http://www.npobook.join-us.jp>
歴史遺産としての古典資料の保存修復・
コンサルティング・技術者養成

企画/編集/ブックデザイン/パンフレット など
作成します



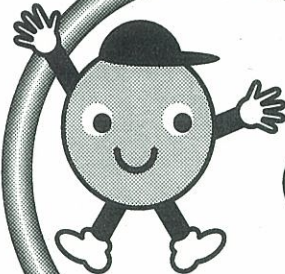
ROSO
鶯草デザイン事務所
京都市中京区三条東洞院東入菱屋町44番地
三条高倉アーバンライフ103号 〒604-8131
TEL.075-253-0220 FAX.075-253-0221
E-mail:roso@cd5.so-net.ne.jp

広告募集!

このスペースに
広告を出しませんか?



1枠 3000円〜5000円
お問い合わせ先パンジーⅡ
TEL 0729-60-3610



どこでも出カ

いろんなところで、話をしてきまし
当事者も支援者も元気にならなあ



ガイドヘルパーと

わたしは、パンジーの休みは「わくわく」活動で、ガイドヘルパーさんといっしょに、自分で決めた好きなところに行きます。この前は、海遊館に行きました。

私のわからないことを、ヘルパーさんに手伝ってもらいます。

仕事をしていた頃

昔、わし仕事に行っててな。ダンボールの箱を運ぶ仕事やった。一緒に働いてたおばちゃんがいけずで、箱を遠くに けて「とってこい」って、いうねん。

わし、すごくくやしかったけど、負けたらあかんと思ってとりに行ってた。でも、病気で長いこと休んだ後、会社の人に「自分がおらんかったら、おうじょうしたわ」って言われたとき、すごうれしかった。今でも、覚えてるわ。



講演の支援をして……

講演会の支援をしていつも驚くのは、当事者がどんどん自信を持つことです。それから、当事者の声に、聞いている人が、力強く、うなづくことです。支援者では太刀打ちできません。

元気が出る話 (ワークショップ)

「アイムハッピー」のかけ声からはじまる、パンジーの 元気が出る話は、当事者を元気にします。自信がどんどんわいてきます。ついでに支援者も元気になります。どこでやっても、みんな元気になっていきます。

昔の話

子どもの頃は、家にお金山あそびに行ったり、川で学校は、きらいやった。先生も、今は知らんけど、きびしくてな。よう怒られて、立たされた

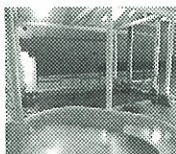
あなたの家から らくらく出発
貸切ジャンボタクシーで行く

愛地球博
EXPO 2005 AICHI JAPAN



ご旅行モデルコース ～人にやさしいサービスを心がけたお宿を厳選しました～

1日目:ご希望出発地——名古屋港——蒲郡温泉 ホテル竹島(泊)
(大阪府下に限る) ・名古屋港イタリア村(3月26日オープン)
・名古屋港水族館
2日目:ホテル——万博会場(たっぷりご見学)——ご希望帰着地
ホテル竹島(蒲郡温泉)……全館バリアフリー構造で誰にも使いやすいホテル
お部屋からは三河湾が一望でき、展望大浴場からの眺めは最高です



21世紀最初の万博がついに開催 35年ぶりに万博がやってくる!!

期間 2005年3月25日～9月25日(185日間)

ご旅行代金 お一人様あたり 39,000円～63,000円(概算)

最大9名様までご乗車できます。身障者手帳・療育手帳をお持ちの方は万博特別入場券がございますので、事前にお問合せ下さい。

おすすめポイント

貸切タクシー利用だから気の合う小グループ・ご家族に最適。自宅やご指定場所までお迎え・お送りしますのでらくらく旅行が可能です。大きな荷物があっても便利です。

含まれるもの……貸切ジャンボタクシー代・通行料・駐車料金・宿泊代(1泊2食)万博入場券(大人)乗務員経費
お客様の希望により行程のアレンジは可能です。

車いすをご利用のお客様でも対応可能なリフト付き車種もございます(別途代金がかかります)

この旅行は当社「旅行業約款(手配旅行契約・包括料金特約)」によります。

詳しくはお申込みの際に担当者より説明させていただきます。

国土交通大臣登録旅行業第55号 名鉄観光サービス(株)日本旅行業協会正会員
名鉄観光サービス(株) 梅田支店

■お申し込み 〒530-0027 大阪市北区堂山町3-3(日本生命梅田ビル内)

お問合せは 9:00～18:00(土・日・祝日除く)

名鉄観光サービス(株)梅田支店 06(6311)2168 担当:佐伯・中井

高齢の方、障害のある方、車いすを利用する方の旅づくりのお手伝いをします。

上記以外の旅行相談も、お気軽にお問合せください。



クリスマス会



食べて飲んで、踊りました。



クラブCAMAで、クリスマス会！

障害者自立支援法反対！

障害者の声を聞け！



夜間も座り込み。自立支援法が通ったら地域で生活できなくなってしまう。



2月15日、厚生労働省前にて。

人に対する安心感

パンジー・スーパースター
中新井 滯子

周りにいる支援者に自分の要求や意思を躊躇なく伝えられる人と、なかなか出せない人がいることを書いてきた。特に後者が気になるのは、彼らはより深刻な問題となる行動を持つており、自身も苦しみ周りも困ることが多いからである。それは彼らを持つていいる障害の種類や程度によって分かれるのでは決してない。また、彼らが教育や訓練で得てきたコミュニケーション能力の差でもないこともはっきりしている。

前号で書いたDさんのことを、もう少し話そう。彼は母親に対する安心感があったが、要求が拒否されたり、行動を制止されたりすると家でも自傷が見られた。パンジーに来ると母親と別れるなり、顔面強打が始まる。筋肉が壊れて黒褐色の尿がでたり、眼底出血の心配もあったので、旅行も彼だけは母親同伴で行った時期もあった。

私達はまずパンジーのスタッフに対する安心感の確立を容易にするために、Dさんの担当を固定し、出来る限り行動を共にするのとした。当時彼は外をウロウロすることが多く、お茶とトイレをくりかえしていたが、スタッフのOさんはずっと彼に寄り添っていた。私も週一日はDさんの側に居て、表情、しぐさ、声などから彼の要求をくみとろうとした。「マァッ」「あァッ」の叫び声から「お母さん来てほしいね」「お茶が飲みたい？」などDさんの気持ちを察して言葉にする。その間も彼はパンパン自分の顔や頭を叩き、側にいると耳がツーンとするほどの音が続く。「お母さんいないのはつらいよね」「よく我慢しているよ」といいながら彼のお腹や背中を軽く叩くと、その間だけ一瞬自傷が止まるような状態だった。

その後、自傷行為そのものは少なくなったり激しくなったり、すっかり影をひそめたと思うとまた再発した。その数年こそ、Dさんとスタッフの間の、「安心感」が育まれてきた期間だったように思う。

人をつきとばしたりすることもある。それでも、自分の要求や感情を支援者にぶつけるのを歓迎した。私がパンジーでDさんとお出合ってから8年になる。当初Dさんの担当はOさんだけだったが、次第に他の支援者にも要求が出せるようになり、数年前からは1人で旅行に参加している。同時に、ショートステイも可能になり、自宅（和式トイレ）以外で初めて排便も出来た。

今でも「お母さん」を要求することがある。時計をみせて「まだ迎えの時間ではないよ」というと「仕方がないなあ」とばかりに、他の訴え（身体がかゆいとか側に居てほしいなど）で少しだけ我慢している。彼の不安や葛藤が支援者との関係の中で解消されるようになってきているのがうれしい。

そして今、私はPさんの側に居る。「どんな時も私はあなたの味方だよ」というメッセージを送りながら。詳細は次号で。



二〇〇三年に始まった支援費制度は、ノーマライゼーションの理念を実現するために作られた。行政がサービスを決定してきた「措置制度」と比較すると、障害者がサービスを選択できるなど、自己決定が尊重されるとともに、当事者本位のサービス提供が期待され、障害を持つ人たちの地域生活をより可能にする制度であった。

一〇月に、財源不足を理由にグランドデザインを発表した厚生労働省は、二月一〇日「自立支援法」として国会に上程した。信じがたいスピードである。グランドデザインが成立すると、利用に応じて障害者は費用を負担しなければならぬ。そして、日中活動の場や、グループホームが障害の程度で分けられる。パンジーでは、どこで活動したいか、どこにだれと住みたいかを大切にしてきた。それが当事者の意志とは関係なく、障害の程度によって移行を余儀なくされるのだ。グループホームでのホームヘルパーの利用も困難になる。

ここに紹介する本は、堀智晴編『ちがうからこそ豊かに学びあえる』特別支援教育からインクルーシブ教育へ』（明治図書・2004）という本です。つまり、私たちの本です。ずうずうしいですが、私たちの本を紹介させてもらいます。この本は、まだ昨年の秋に出たばかりなので、ほかほかです。ぜひ読んで下さい。とくに、学校の先生たちや親ごさんに読んでほしいです。この本は、小学校の先生が三人と、障害のある子どもの親の一人と私の五人で書いています。

障害があっても一人ひと

り本場にちがいます。たと

えば、今「自閉症」といわれる人が注目されていますが、自閉症といっても本場に一人ひとりちがった個性を生きています。だから、障害から人間を見るのではなく、まず、生身の子ども自身、その人自身を見ることが大事です。障害があってもまず一人の人間です。まさに「ピープル・ファースト」です。それとただ一人の人間というだけでなく、一人ひとりがユニークなのです。文字通り「世界にたった一人のその人」です。

そして、そのように一人



明治図書（2004年）

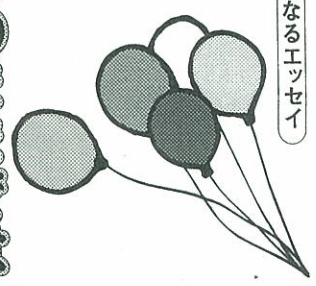
ひとりユニークであるからこそ、おたがい豊かに学びあえるのだと思います。いろんな感じ方、考え方、生き方があるから、おたがいに影響を与えあって学びあえるのです。私はそのような実践を保育所や学校現場で見ました。

この本では、今文部科学省がすすめている「特別支援教育」ではだめだと、理由をあげて主張しています。学校教育を、障害のある子どもない子もわけへだてなく、

今のままではダメですか？

林淑美

（クリエイティブハウス「パンジー」施設長）

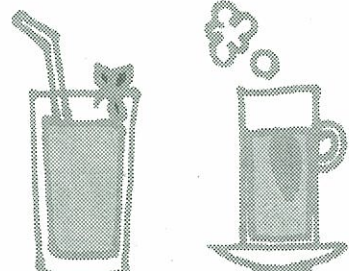


気になるエッセイ

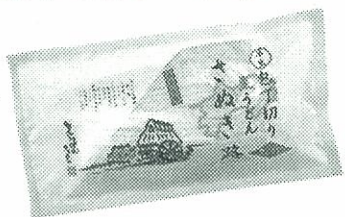
入所施設に象徴されるように、まだまだ集団生活を余儀なくされているのが現状である。そのような中で、コンサートやプール等、自分の行きたいところに行けるガイドヘルパーの制度は、唯一と言っていい個別サービスである。自立生活に向けての取り組みにも重要な役割を果たしてきた。

財源不足をメインの理由とするなら、日本の経済は既に破綻しているという学者もいる。弱い部分にしろ、寄せをするのではなく、だれもが生きやすい社会にするために、抜本的な改革が必要なのはだれの目にも明らかだ。

見通しは明るくない。しかし、どんな時にも未来を切り展くのは当事者からの発信だ。「今のままではダメですか？」と問う当事者に、国は答えられるのだろうか。私たち支援者は、どんな変化にも対応できるポジティブなビジョンを持ち続けたいと思う。



工場直送讃岐うどん・つゆ



- | | | |
|---------------|-------|------|
| ●半生うどん | 1袋 | 300円 |
| ●マルキンうどんタレ | 1回分 | 20円 |
| ●マルキンデラックスつゆ | 1.8ℓ | 870円 |
| ●マルキン釜揚げうどんつゆ | 340ml | 240円 |
| ●マルキン生醤油つゆ | 150ml | 200円 |

おすすめ商品

※お電話・FAXでお申し込み下さい。
宅配便でお送りする場合の送料はお客様
負担になりますのでご了承下さい。

手作りマフィン



おすすめセット

- TEAセット
(紅茶・番茶・コーヒー)
 - 和セット
(きなこ・番茶・ゴマ)
- 各350円

パウンドケーキとクッキーの詰め合わせ

パウンドケーキと2種類のクッキーの詰め合わせです。

- 3種類のセットから、お選びください。
- Aセット・プレーンパウンドと2種類のクッキー
 - Bセット・フルーツパウンドと2種類のクッキー
 - Cセット・紅茶パウンドと2種類のクッキー
- 各1,300円

●ご注文・お問い合わせ

クリエイティブハウスパンジー

〒578-0973 東大阪市東鴻池町2-4-8
Tel 0729-63-8837 Fax 0729-63-8825



ミックスクッキー

ごま・ココア・ピーナッツ・
レーズンの4つの味。



パウンドケーキ

プレーン・フルーツ・紅茶の
3種類があります



ころころクッキー

たまごを使っていない、くる
みたっぶりのクッキー



2001年第2刷
価格：1000円

「遅れを招く環境」におかれていた知的障害者やたちのピープルファースト宣言。「私たちは、障害者である前に人間です」。社会福祉法人創思苑の理念とあゆみを丁寧にまとめた冊子。



2004年3月発行

「知的障害者と支援者のエンパワメントプログラム事業」の報告本。前半は2003年から2004年にかけて行った当事者による当事者へのアンケート調査結果。後半は当事者と支援者による講演についてまとめた。元氣のなる一冊。

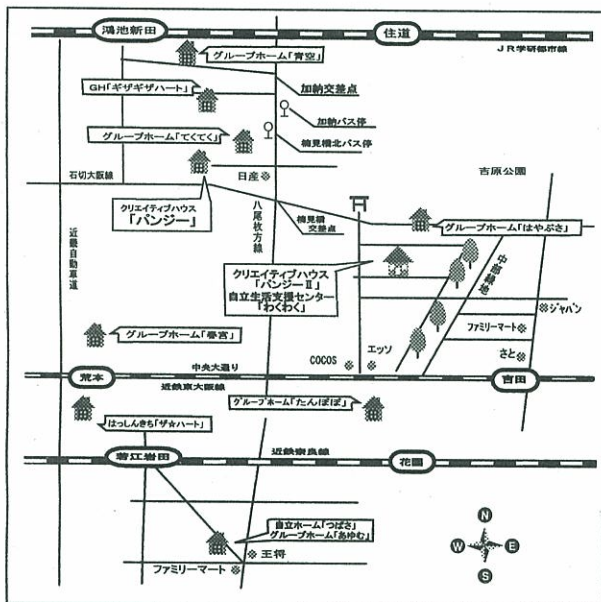


上映権付価格：12000円
個人価格：2000円
2002年制作 カラー20分

「どんなに障害が重くても、1人の人間として地域で自分らしく生きる！」1年半をかけてパンジーの日常を追った紹介ビデオ。

BOOKS
&
VIDEO

自立生活支援マップ



■最寄り駅 パンジー

- (1) JR学園都市線 住道駅
→近鉄バス八尾駅行・荒本行 加納バス停下車・南へ徒歩5分
- (2) 近鉄東大阪線 荒本駅
→近鉄バス萱島・住道行 楠見橋北下車・徒歩1分

パンジーⅡ・わくわく

近鉄東大阪線 吉田駅 徒歩10分

パンジーでは、後援会員を募集しています

- | | | | |
|--------|----------------|-----|--------|
| 賛助会員 | 1口 | 1カ月 | 500円 |
| 本会員 | 1口 | 1カ月 | 1,000円 |
| 特別会員 | 1口 | 1カ月 | 5,000円 |
| 郵便振替番号 | 00950-1-300551 | | |
- クリエイティブハウス「パンジー」

書き損じハガキ、
(未使用)切手を
送ってください！

ご協力ありがとうございます

〈後援会費を振り込んでいただいた方〉
橋孝一郎

〈書き損じはがき・未使用切手・お送りいただいた方〉
内山 今西聡 水月昇弘・宮田隆志・見館史郎

(敬称を略させていただきます)

お問い合わせ

- クリエイティブハウス「パンジー」
東大阪市東鴻池町2丁目4-8
Tel 0729-63-8818 Fax 0729-63-8825
- クリエイティブハウス「パンジーⅡ」
東大阪市中開2-11-20
Tel 0729-60-3610 Fax 0729-60-3613
- 自立生活支援センター「わくわく」
東大阪市中開2-11-20
Tel 0729-60-3611 Fax 0729-60-3613
- はっしんきち ザ☆ハート
東大阪市荒本2049-4-101
Tel 06-6789-6637 Fax 06-6789-6649
- ホームページ/ <http://www.pansy-net.or.jp>
メールアドレス/ info2@pansy-net.or.jp

みんなげんき

No.1
さいわい徴◎

